

令和2年度北海道温暖化対策関連事業【概要】

—気候変動の影響に対処し、被害を回避・軽減する「適応」施策—

「北海道気候変動適応計画」(R2年3月策定)に示す、4つの重点分野について取組を推進する。

令和2年度関連事業予算 52事業*1 約125億円*2

※1 再掲分の事業は省いています。

※2 各事業の予算において、他事業の内数となるものは含んでいない。

自然環境

◆水環境・水資源

・公共用水域の水質測定 64,690千円の内数
「水質汚濁防止法」に基づき、水質監視の必要性が高い公共水域を対象に常時監視を実施

・「北海道水資源の保全に関する条例」に基づく取組 969千円
水資源保全地域の指定による適正な土地利用の確保など、資源の保全に関する施策を総合的に推進



◆自然生態系

・鳥獣保護管理対策 20,205千円の内数
第12次北海道鳥獣保護管理事業計画、北海道エゾシカ管理計画(第5期)、北海道ヒグマ管理計画、北海道アザラシ管理計画(第2期)に基づく野生鳥獣の保護管理の推進

・地域森林計画編成事業(森林資源の現況把握等) 76,792千円の内数
森林資源の現況把握やモニタリング調査による森林の状態・変化の定点調査等を実施
など18事業

自然災害

◆自然災害・沿岸域

・北海道地域防災計画に基づく取組 9,773千円
・災害対策本部指揮室の設置や被災市町村への職員の派遣などを規定
・市町村の災害対応能力の向上に対する支援を実施
・住民の災害に対する危機意識の醸成に向けた普及啓発を実施

・河川改修等の治水対策 35,264,992千円の内数
河道の掘削、築堤、放水路・ダム・遊水地の整備などの治水対策について、近年の浸水被害等を勘案した重点的な整備を推進

・地すべり対策 22,857,566千円の内数
人家や公共施設、農地や農業用施設、林地等の地すべり災害を未然に防止するため、地表水・地下水排除施設等の整備を実施

・道路防災対策 50,578,731千円の内数
要対策箇所について、防雪策や雪崩予防策などの対策工を重点的に実施、気象条件の変化による新たな対策箇所等の把握に努めるなど計画的な施設整備を推進
など18事業

産業

◆農業・林業・水産業



・営農技術対策 96,249千円
気象状況に応じた技術対策を定期的に農業改良普及センター等を通じ、農業者等へ指導

・多面機能支払交付金の活用 9,195,189千円
農村コミュニティを活用した防災・減災活動の取組推進や、防災意識の啓発・普及等への支援

・森林保護事業 18,760千円
森林の病害虫等の駆除により、まん延を防止

・水産基盤整備事業(漁場) 7,929,800千円の内数
海洋環境の変化等に対応した漁業生産の早期回復と安定化
など7事業

生活・健康

◆健康



・熱中症への注意喚起 非予算化事業
熱中症予防に係るパンフレット等の配布やHPへの掲載による普及啓発、札幌管区気象台配信の「高温注意情報」を各保健所などに情報提供

・児童生徒への指導 非予算化事業
指導文書等による対策の徹底とともに、学校における強化指導等により児童生徒への熱中症に対する理解を促進

◆国民生活・都市生活

・「北方型住宅」及び「きた住まいる」制度の普及 23,921千円
北海道の気候風土に根ざした「北方型住宅」の取組推進、省エネなどの住宅性能を有する良質な住宅を供給する住宅事業者の登録や住宅性能の見える化などの仕組みである「きた住まいる」制度の普及
など11事業